



インドネシア農業の最新状況

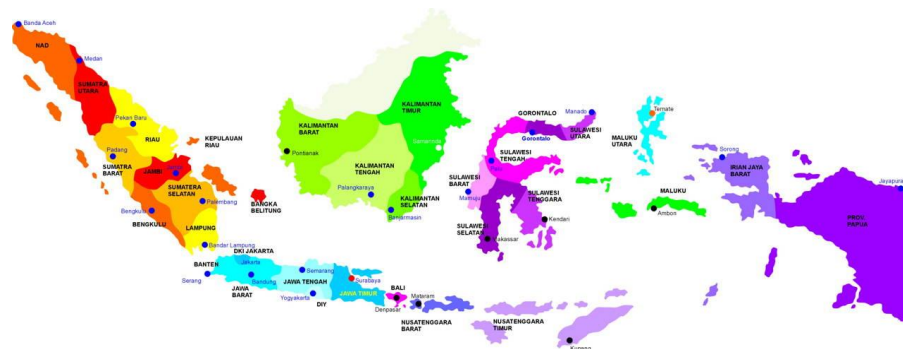
2019年12月26日

鶴崎 一郎

(インドネシア農業省 個別専門家)

目次

- 1 インドネシアの主要農産品
- 2 インドネシアの人口増加
- 3 インドネシア農業の課題
- 4 新大臣就任
- 5 インドネシア農業省2020-2024中期計画
- 6 今後の我が国からインドネシアへの支援



1. インドネシアの主要農産品

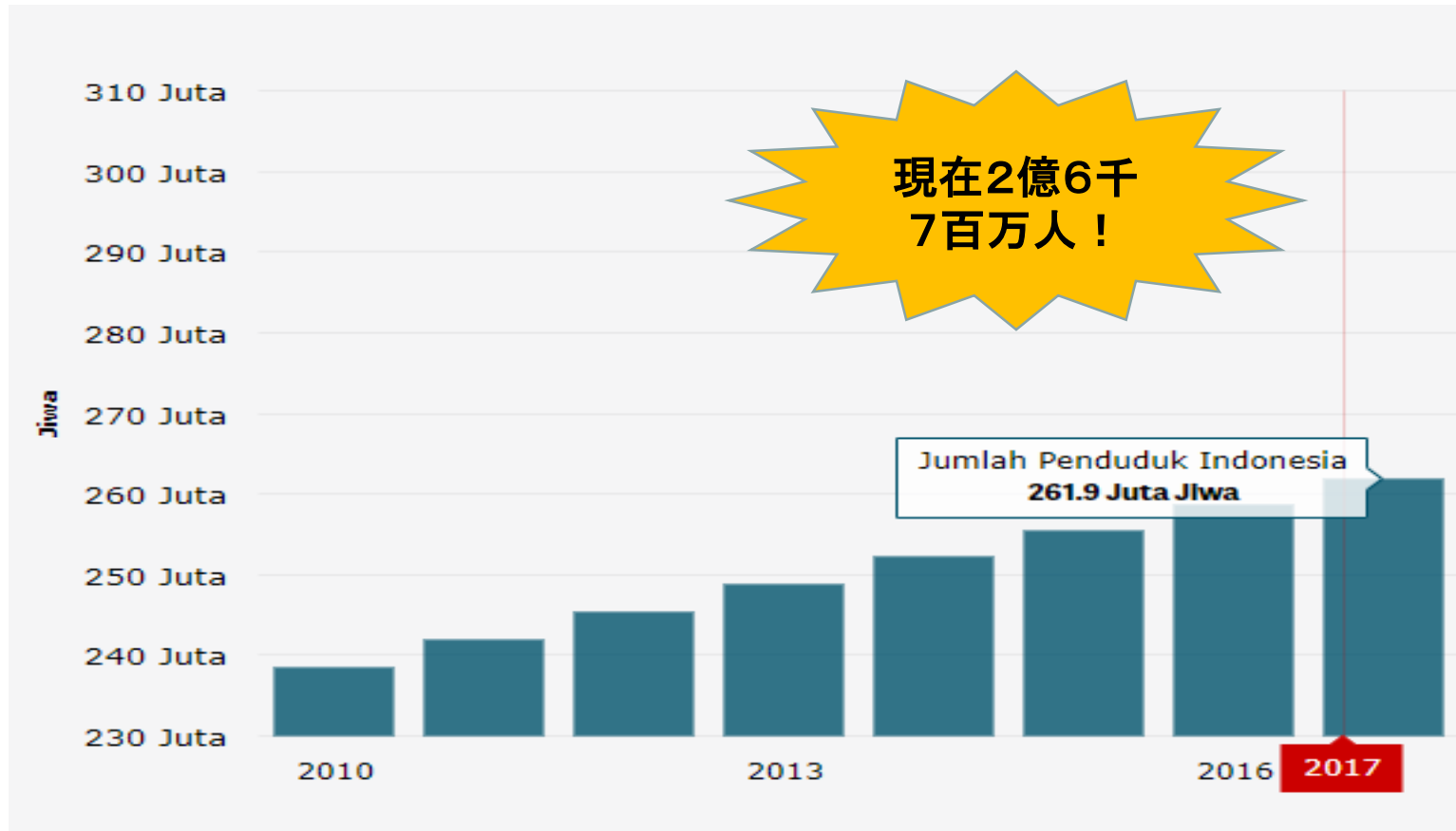
主要5品目であるコメ、トウモロコシ、大豆、肉、砂糖については自給を目指している。しかし、大豆は多くを輸入に頼っている。

品目	主要製品の生産量、自給率					2017
		2013	2014	2015	2016	
コメ	生産量(千トン)	41,695	41,428	44,104	46,368	47,596
	自給率(%)	102	100	100	101	102
トウモロコシ	生産量(千トン)	18,512	19,008	19,612	23,578	27,949
	自給率(%)	85	85	86	95	99
大豆	生産量(千トン)	2,593	2,907	3,245	3,146	2,454
	自給率(%)	30	33	30	27	22
牛肉	生産量(千トン)	378	373	380	389	398
	自給率(%)	94	88	94	81	88
鶏肉	生産量(千トン)	1,895	1,940	2,031	2,301	2,258
	自給率(%)	105	105	105	105	105
砂糖	生産量(千トン)	2,551	2,579	2,498	2,223	2,465
	自給率(%)	47	47	41	35	75

資料: 農業省ウェブサイトのデータを加工

2. インドネシアの人口増加

インドネシアの人口は未だ年々増加



資料: BPS (インドネシア中央統計局)

このような中、食料作物の増産は農業政策の根幹となっている。 4

3. インドネシア農業の課題

生産、流通等の各面で、各国と同様の様々な課題がある。

〔主な課題〕

- 小規模な作付面積（一戸あたりの土地所有面積の平均は約0.8ha）
- 農業生産の非効率性（適切かつ効率的な農業機械化が進んでいない）
- 農業協同組合の組織化が未発達
- 農業ファイナンスが未成熟
- 農産物の加工流通、販売ルートの開拓が進んでいない
- 農業関係資材（機械、肥料、種苗）に関し政府から多額の補助。しかしバラマキになっている感がある

インドネシアは大国ではあるが、他の途上国と比較し決して進んでいるとは言えない。

3. インドネシア農業の課題(バリューチェーン)

特にバリューチェーン向上面では、高品質製品の生産ができていない、ポストハーベスト管理や加工への取り組みが不十分等の課題がある

〔生産面〕

- 農家の新技術導入に対する関心が低い
- 高品質種子がタイムリーに手に入らない、また品質が不安定
- 近代市場の需要に合った高品質製品の供給が限られている／不安定
- 農家グループの組織化が必要

〔加工流通面〕

- 集荷業者の買取価格が低い。農家が価格を決められない
- 近代市場側のバーゲニングパワーが強い
- 近代市場とのコネクションが限定的
- ポストハーベスト管理が不十分で質が低下／多大なロスが発生
- 農産品加工への取り組みが未発達
- バリューチェーンが長くその間に鮮度が損なわれる

4. 新大臣就任 (Dr. Syahrul Yasin Limpo)

本年10月24日に第2期ジョコウィ政権の元、新農業大臣が就任

〔新大臣の略歴〕

- ・1955年3月16日南スラウェシ州マカッサル市生まれ
- ・ハサヌデイン大学法学部卒業
- ・元々は役人(マカッサル市役所ほか)
- ・ゴワ県知事(1994-2002)
- ・南スラウェシ州知事(2008-2018年)

〔モットー〕

“Advanced, Autonomous & Modern
Agriculture”

(先進的、独立的、近代的農業)

“GRATIEKS”

(Gerakan Tiga Kali Ekspor=輸出を3倍にする)



5. インドネシア農業省2020-2024中期計画(その1)

骨子を11月に発表。本体は2020年3月に公表予定。大筋は現行計画と変わらない見込み。

2019.11.14に新大臣が関係閣僚会議で発表した「2020-2024 Agricultural Strategic Policy」(中期計画の骨子)から抜粋

〔農業省2020-2024政策の方向性(5つの柱)〕

- 1 国家食料自給の維持
- 2 競争力の強化
- 3 農業資源及び農業施設及びインフラの利用可能性の維持
- 4 農業人材の質の向上
- 5 効率的、効果的かつサービス本位の官僚機構の実現



5. インドネシア農業省2020-2024中期計画(その2)

骨子の中で12の主要プログラムを提示。人材開発、生産、インフラ、技術革新等様々な分野が含まれている。

〔2020-2024主要プログラム〕

- 1 農業人材開発
- 2 土地利用の最適化(沼地、畑地)
- 3 灌漑のリハビリ等を通じた水供給
- 4 農業機械の開発・導入
- 5 農業金融(農業保険、銀行)
- 6 食料作物(コメ、トウモロコシ、大豆、豆類、イモ類、穀物)の増産



5. インドネシア農業省2020-2024中期計画(その3)

[2020-2024主要プログラム](続き)

- 7 園芸作物(野菜、薬用作物、果実、花)の競争力強化
- 8 生産性及び競争力の向上(コーヒー、カカオ、ココヤシ、カシ
ューナッツ)
- 9 畜産・家禽の頭数、生産性及び遺伝的形資の向上
- 10 技術革新の適用の加速及び、研究開発由来種子の増殖
- 11 家族農業、学校庭園、主要食物の価格管理及び食の多様化
による食料困窮地域の緩和
- 12 検疫サービスの強化及び輸出促進



5. インドネシア農業省2020-2024中期計画(その4)

戦略作物として、以下の品目の2020-2024の生産目標値を提示

〔戦略食料作物〕

コメ、トウモロコシ、大豆、落花生、緑豆、キャッサバ、サツマイモ

〔戦略園芸作物〕

トウガラシ、赤タマネギ、ニンニク、マンゴー、バナナ、オレンジ、
ドリアン、マンゴスチン、ショウガ、キク

〔戦略エステート作物〕

カカオ、コーヒー、ゴム、ココヤシ、油ヤシ、コショウ、ナツメグ、ク
ローブ、砂糖、カシューナッツ、茶

〔戦略畜産物〕

牛肉、水牛肉、ヤギ肉、ラム肉、豚肉、鶏肉、あひる肉、牛乳、
卵

5. インドネシア農業省2020-2024中期計画(その5)

大臣の意向として、短期的に取り組むべき5つのプログラムを提示

〔短期的プログラム〕

1 シングルデータ

- 土地や生産に関する正確なデータ
- Agricultural War Roomの創設

新大臣の
プライオリティ

2 コストラ・タニ (Kommando Strategis Pertanian = 戦略的農業指令システム) – 既存の農業普及所に各種リソースを集中し、情報、相談、政策実施の拠点とする

- サブディストリクト(市町村)レベルにおけるコストラ・タニの立ち上げ

3 食料入手可能性

- 全国民への向こう3か月の戦略食料品の入手の保障

4 ファイナンス

- 保険の改善及び農民銀行の創設

5 相乗作用

- 農業開発において、a. 他省／他機関、b. 大学、c. 地方政府(知事)との₁₂相乗作用を強化

6. 今後の我が国からのインドネシアへの支援(その1)

一義的には政府の中期計画や大臣等幹部の意向を考慮する必要

大臣が変わり、自身のカラーを出しつつあるところである。また新たな中期計画も間もなく発表される

→ まずは、政府の意向を注視する必要。その中で我が国の関心、利益にも資する取り組みを考えていく

留意事項:

- ・インドネシア人は、具体的な要望をあまりはっきり言わない
- ・目立つもの、先進的なものを好む傾向。しかしそれが本当に必要か
- ・「安全、安心、高付加価値」なものを求めるニーズが国内にどれだけあるのか
- ・外国投資規制(例えば園芸加工業を始める場合、出資上限は30%)

6. 今後の我が国からのインドネシアへの支援(その2)

[プロジェクト案] ※ 専門家が仮に考えたもの。

- 1 冷蔵・冷凍倉庫の建設や低温流通体制構築のための日本からの民間投資の促進(コールドチェーンの強化)
- 2 国内外の需要に応じた高付加価値農作物・加工品の開発、ブランディング
- 3 高収量・病虫害抵抗性新品種の開発及び導入、及び栽培方法の確立による農業生産性の向上
- 4 農業協同組合を含む農家組織の能力強化



6. 今後の我が国からのインドネシアへの支援(その3)

上記に対するインドネシア政府の反応

〔国際協力局長〕

- ・それぞれの案件はよいが、最終的にインドネシアからの特定の産品の特定の国への輸出につながるものとなる必要。例えば、その事業により中国へのドラゴンフルーツの輸出が増える等。
- ・様々な支援をパッケージとして集中的に投入し、パイロット事業を実施してほしい。

〔計画局次長〕

- ・どれも必要な事業である。
- ・一方、個々の側面ではなく、生産から販売までバリューチェーンのすべての側面を含んだプロジェクトも重要。それは、例えば小さな地域でパイロット的にやることでもよい。
- ・(個人的意見だが)地方における農業ビジネスコンサルタントが不足しており、そのようなことのできる者の育成が必要。

Terima Kasih Banyak!

ご清聴ありがとうございました。



バリ島の棚田